

2005年5月24日

眼鏡機器部門の一部営業譲渡について

株式会社トプコン（以下トプコン）と、HOYA株式会社ビジョンケアカンパニー（以下HOYA）は、このほどトプコンがHOYAの眼鏡機器部門の一部を譲り受けることで、合意いたしました。

トプコンの医用機器事業部は、「人の目の健康に貢献する」特に Quality of Vision（見え方の質）の向上を目指し、「眼科向け」と「眼鏡店向け」の検査／診断用機器、治療機器、眼鏡レンズ加工機などの他、関連する IT 応用機器など幅広い商品を取り揃え、世界各国からご愛顧戴いております。

しかしながら国内における眼鏡機器の販売は、眼鏡市場の拡大が停滞しているため飛躍的な伸張が難しい状態が続いております。このような状況の中にあって、新たな製品開発と販売力アップの為に、眼鏡レンズの世界のリーディングカンパニーであるHOYAと、トプコンがアライアンスを組む事により新たな市場の創出を目指し、HOYAのフレームトレーサーを除く加工機、および視力測定機を中心とする眼鏡機器部門の一部をトプコンが譲り受けることとなりました。

今後トプコンは、眼鏡機器をはじめとする各種医用機器の技術開発力および販売網に、HOYAの持つ眼鏡レンズ・フレームに関するノウハウと販売ネットワークを付加することにより、経営の効率化とともに、より良いサービスの提供とニーズにあった製品開発を展開します。またこれにより、差別化商品の提供および販売／製造の集約化をすすめ、コスト競争力のアップをはかります。

HOYAは、今回の決定により、HOYAのコアビジネスである眼鏡レンズ・フレームの開発販売に専念し、さらに付加価値の高い製品開発と、今後ますます拡大が予想されるシニアメガネマーケットへの積極的な対応の環境整備を行うこととなります。

トプコンならびにHOYAは、今回の決定が、両社それぞれの経営資源の最適配分を可能にし、両社の今後の発展ばかりでなく、より高度なビジョンケアの実現と眼鏡業界の発展に寄与できるものと確信しております。

記

1. 譲渡対象 : HOYA株式会社ビジョンケアカンパニーの日本国内における眼鏡器械部門のうちレンズ工場で使用されるラボシステム用機器、フレームトレーサーおよび販売促進用商品を除いた部門。
2. 譲渡後の形態 : 今後の該当眼鏡機器の開発・製造・販売は、すべてトプコンが行い、HOYAは開発および販売について協力する。
3. 保守対応 : 販売済みのHOYA眼鏡機器の保守およびアフターサービスに関する対応は、トプコンが引継ぐ。ただし平成17年9月30日までの間はHOYAが保守を担当し、さらに同12月31日まではHOYA内にサービス窓口を開設してトプコンと協力して対応する。
4. 譲渡の時期 : 2005年7月1日